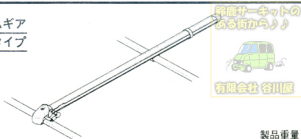
# TERZO EC21
# サイクルシステムギア フォークダウンタイプ 取扱説明書

この度は、TERZO製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

※この本文中の⚠注意マークと⚠警告マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。
安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

お客様へお願い ‥‥この取扱説明書とご購入時のレシートは、大切に保管しておいてください。
又、この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

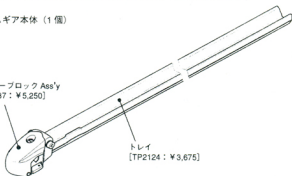
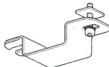
取付店様へお願い ‥‥この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

## 使用上のご注意

### ⚠注意

- この商品は、別売のTERZOベースキャリアに取り付けて使用してください。
- メインバーの前後間隔が500mm未満での取り付け及び積載はしないでください。
- 自転車以外は積載できません。又、自転車に落下の恐れのあるものを取り付けたまま積載しないでください。
- 自転車を積載した場合に、車両の中心線に平行になるように取り付けてください。
- 走行前及び走行後には必ず、各ボルト類にゆるみがないか点検及び増し締めを行ない、ベースキャリア及びサイクルシステムギア、自転車にガタツキ等がない事を確認してください。ガタツキのあるまま走行すると、脱落の危険があります。必ず走行前に、各ボルト類のゆるみがないか点検し、ゆるみがある場合は増し締めを行なってください。
- ベースキャリア、サイクルシステムギア装着時及び自転車積載時には、最高速度は法定速度以下におさえ、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキを避け、運転には充分ご注意ください。特に急カーブや悪路、強い風、向い風を受ける場合は、運転特性を損なう事がありますので、スピードを充分おさえて走行してください。
- ベースキャリア、サイクルシステムギア装着時及び自転車積載時には、車高が高くなりますので、屋根付きの駐車場、高架等の高さ制限がある場所や木々の繁った場所を走行する際には充分ご注意ください。
- ベースキャリア及びサイクルシステムギア装着時、洗車機での洗車はできません。洗車機での洗車はルーフの変形、車室内水入り、その他を起こす場合があります。
- 自転車の積み降ろし作業は、平らな場所で充分なスペースと安全を確保して行なってください。車両は、ギアをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させておいてください。
- 不確実な積載状態で走行すると脱落の恐れがあります。走行前及び走行後には、必ず自転車が確実に固定されているか確認してください。
- 本製品は、フロントタイヤを外した際のフロントフォークの幅が100mmの自転車を積載出来るキャリアです。それ以外の寸法の自転車や特殊なフロントフォーク形状の自転車は積載できませんのでご注意ください。

フロントフォーク　100mm　100mm

## 内容品

※ 梱包品が全部揃っている事を確認してください。足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
※ 部品を紛失した場合は、下記のTP品番で取り寄せできますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。
尚、下記TP品番に表示されております価格は、全て税込み価格です。

## 必要工具

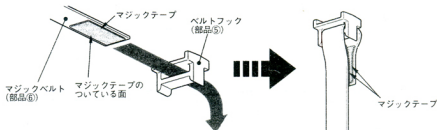
●メジャー

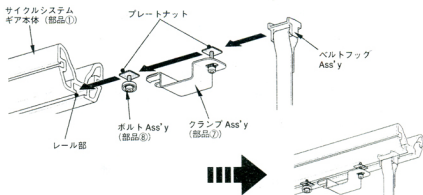
●グリース（潤滑剤）

# 【1】取り付け方法

## [1] マジックベルトの取り付け

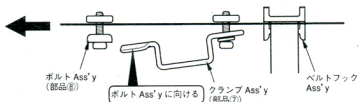
ベルトフック（部品⑤）に、マジックベルト（部品⑥）を下図のように通してください。

マジックテープ
ベルトフック
（部品⑤）
マジックベルト
（部品⑥）
マジックテープの
ついている面
マジックテープ

## [2] クランプ Ass'y、ベルトフックの取り付け

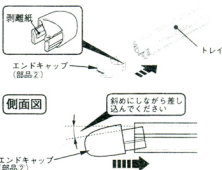
ボルト Ass'y（部品⑧）、クランプ Ass'y（部品⑦）、[1] で組み付けたベルトフック Ass'y の順にサイクルシステムギア本体（部品①）のリア側からトレイのレール部に通してください。

**本作業は、サイクルシステムギアのリア側から行なってください。**

### ボルト Ass'y とクランプ Ass'y とベルトフック Ass'y を通す順番と向き

側面図

ボルト Ass'y
（部品⑧）
ボルト Ass'y に向ける
クランプ Ass'y
（部品⑦）
ベルトフック
Ass'y

## [3] エンドキャップの取り付け

エンドキャップ（部品②）の両面テープの剥離紙をはがし、右図の位置にしっかりと取り付けてください。

※ 両面テープがトレイの端部に引っ掛かって剥がれないよう、エンドキャップを少し斜めにしながらトレイに差し込んでください。

## [4] ホルダーブロックの組み立て

シャフト（部品③）を、ホルダーブロックの穴形状に合わせて通し、ラチェットレバー（部品④）に軽く止める程度に組んでください。
（まっすぐに組み付けないと、ラチェットレバーを組み付けられない場合があります。）

車両の左側にシステムギアを装着する場合

車両の右側にシステムギアを装着する場合

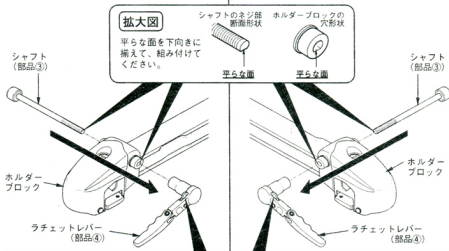
拡大図

平らな面を下向きに揃えて、組み付けてください。

シャフトのネジ部断面形状　平らな面

ホルダーブロックの穴形状　平らな面

シャフト（部品③）

ホルダーブロック

ラチェットレバー（部品④）

チェンジレバーが「LOCK」状態（下図の位置）である事を確認し、ラチェットレバーを組み付けてください。
（「OPEN」状態では、組み付ける事は出来ません。）

ラチェットレバー　チェンジレバー　LOCK

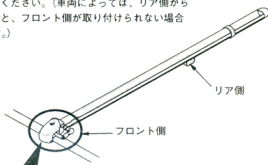
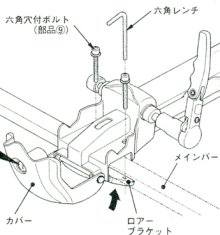
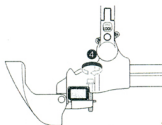
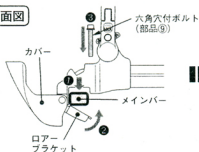
「LOCK」状態　○

「OPEN」状態　×

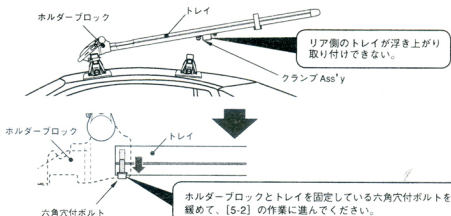
チェンジレバーが「OPEN」状態になっている場合は、下図のように「LOCK」状態へ切り替えてください。

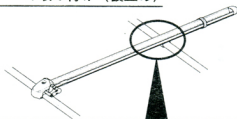
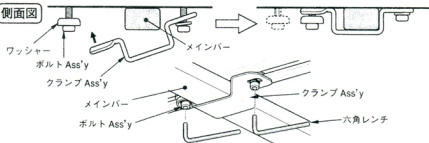
## [5-1] メインバーへの取り付け（仮止め）

### フロント側

※ メインバーの取り付けはフロント側、リア側の順番で行なってください。（車両によっては、リア側から取り付けると、フロント側が取り付けられない場合があります。）

キー（部品⑪）を差し込み、カバーを開けてください。
ロアーブラケットを開き、ベースキャリアのフロント側のメインバーを、ホルダーブロックとロアーブラケットで挟み込んでください（❶）。
ロアーブラケットを閉じ（❷）、六角穴付ボルト（部品⑨）で仮止めしてください（❸❹）。

## こんな場合には

ホルダーブロックを取り付けた後、リア側のトレイが浮き上がり、クランプAss'yを取り付ける事ができない場合は、下記の手順で作業を行なってください。

ホルダーブロックとトレイを固定している六角穴付ボルトを緩めて、[5-2] の作業に進んでください。

## [5-2] メインバーへの取り付け（仮止め）

### リア側

システムギア本体のレール部に通したボルトAss'yとクランプAss'yでメインバーを挟み、ボルトAss'yのワッシャーをクランプAss'yに引っ掛け、六角レンチで仮止めしてください。

## [5-3] メインバーへの取り付け（ボルトの締め付け）

[5-1] [5-2] で仮止めした六角穴付ボルトを、フロント側、リア側の順番で六角レンチにて、しっかりと締め付け確実に固定してください。([5-1] にてトレイが浮いた場合は、フロント側、トレイを固定している六角穴付ボルト、リア側の順番で締め付けてください。)

### [6] 取り付け状態の確認

⚠注意 最後にサイクルシステムギア本体を上下左右にゆすって、ガタツキ、ゆるみ等がないか、確認してください。

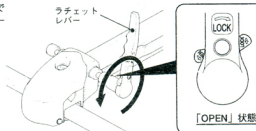
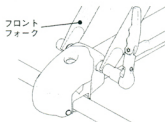
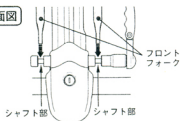
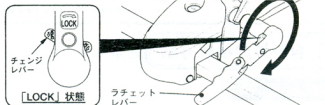
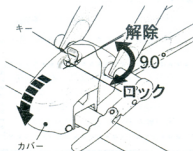
## 【2】自転車の積載方法

### 積載上のご注意

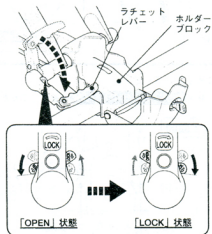
●自転車を積載する前に、ラチェットレバーの各部品が滑らかに作動するか確認してください。
作動が固くなっている場合は、➡の部分より内部に行き渡るよう、グリース（潤滑剤）を注入及び、塗布してください。（作動が固くなっていると機能不良が起きる場合があります。）

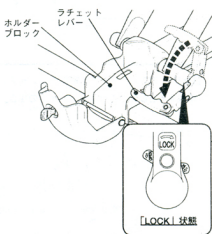
※グリースは、樹脂部品にかからないよう塗布してください。グリースの種類によっては、樹脂部品に悪影響を及ぼすものがあります。

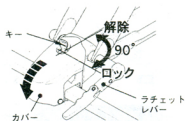
### 自転車積載手順

(1) チェンジレバーが「OPEN」状態である事を確認し、ラチェットレバーをゆるめてください。

(2) 自転車のフロントフォーク先端部をシャフト部に差し込んでください。
※『積載する自転車がダウンヒルバイクの場合』は、P.9 ダウンヒルバイクの積載を参照してください。

(3) チェンジレバーが「LOCK」状態である事を確認し、ラチェットレバーを締め付け、フロントフォークが確実に固定されている事を確認してください。

(4) キーを差し込み、ホルダーブロックのカバーを開けてください。

(5) ホルダーブロックの凹部に、ラチェットレバー先端部を収納してください。

**車両の左側にシステムギアを装着している場合**

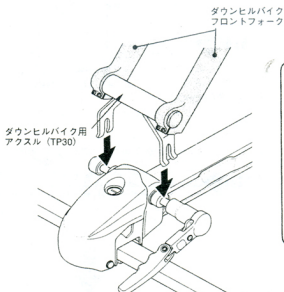
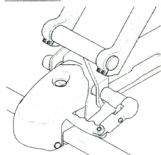
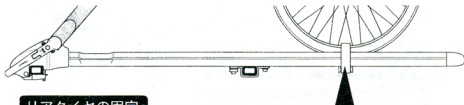
チェンジレバーを「OPEN」状態に切り替え、ラチェットレバーを時計回りに回して、ホルダーブロック内に収納してください。
収納後、必ずチェンジレバーを「LOCK」状態に戻してください。

**車両の右側にシステムギアを装着している場合**

チェンジレバーが「LOCK」状態である事を確認し、ラチェットレバーを逆時計回りに回して、ホルダーブロック内に収納してください。
収納後、チェンジレバーが「LOCK」状態である事を再確認してください。

(6) ホルダーブロックのカバーを閉め、キーロックをしてください。
その際、ラチェットレバーが動かせない事を確認してください、

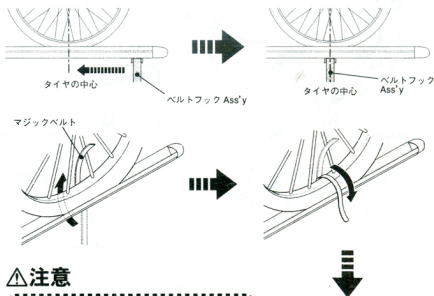
※ 自転車の積載の有無に関わらず、必ずキーロックをしてください。

## ダウンヒルバイクの積載

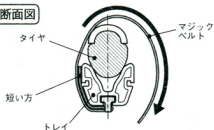
◎ダウンヒルバイクを積載する場合は、別売の（ダウンヒルバイク用アクスル（TP30））を使用して、本システムギアに積載してください。

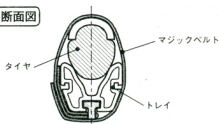
ダウンヒルバイク
フロントフォーク

ダウンヒルバイク用
アクスル（TP30）

組付完成図

## リアタイヤの固定

積載する自転車のホイールベース長によって、ベルトフックAss'yの位置が変わります。ベルトフックAss'yはスライドさせる事が可能ですので、自転車に合った位置（タイヤの中心）まで調節してください。

ベルトフックAss'yがタイヤの最下点に来るまでスライドさせ、タイヤをマジックベルトでしっかりと固定してください。

## ⚠注意

● タイヤを固定する際、マジックベルトは、短い方が内側に入るように巻き付けてください。

**⚠注意**

- 下図のようにタイヤがトレイの中心になるようセットしてください。

- フロントフォークが確実に固定されているか必ず確認し、ゆるみやガタツキがある場合は再度締め込みを行なってください。
- 自転車積載時及び積載していない場合にかかわらず、必ずラチェットレバーの先端部をカバー内に収納し、キーはロックしておいてください。
- 自転車を積載していない場合も、ベルトの暴れを防止する為、ベルトは常に収納してご使用ください。
- 自転車のリアタイヤを固定するマジックベルト（部品⑥）は消耗品です。マジックベルトにホツレや著しい損傷等がある場合、ベルトが切れて、自転車脱落等の原因になる場合がありますので、新品に交換してください。
- 定期的にラチェットレバーのラチェット機構部に、潤滑剤を塗布してください。その際、樹脂（プラスチック）部分に潤滑剤が付着しないようご注意ください。
- 本製品を長期間使用しない場合は、できるだけ室内にて保管してください。

## 【3】取り外し方法及び保管

### [1] 取り外し方法

(1) 作業場所と車両の準備をし、『【2】自転車の積載方法』とは逆の手順で自転車をサイクルシステムギアから降ろしてください。

(2) サイクルシステムギアを『【1】取り付け方法』とは逆の手順でベースキャリアから外してください。

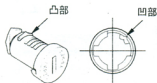
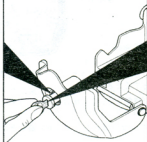
(3) 外した部品類は、システムギアに再度取り付けて保管してください。

**⚠注意**

- システムギアにより、車両にキズを付けないよう充分注意して作業を行なってください。
- 外した部品は紛失しないようにしてください。
- システムギアを外して保管する場合は、きれいに清掃して水気のない場所に保管してください。

### [2] 再取り付け時のご注意

- 部品が全て揃っている事及び損傷がない事を確認してから本取扱説明書に従って作業してください。
- 万一、部品に異常が認められた場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 【4】マスターキーシステムの利用方法

**キーシリンダーの取り付け方法**
キーシリンダーの凸部を内部の凹部に合わせ、キーシリンダーを押し込んでください。

**キーシリンダーの取り外し方法**
キーを図の角度で左右に回しながら、手前に引いてキーシリンダーを抜いてください。

## TERZO オプションパーツ

価格：メーカー希望小売り価格（税込み）

### EA59 ／ EA60　マスターキーシステム

ベースキャリアやシステムギアのキーシリンダーをマスターキーシステムに交換すると、交換した全アイテムのキー No. が統一でき、1 枚のキーで全てのロック／解除を行なう事ができます。

- EA59
- EA60

### TP30　ダウンヒルバイク用アクスル

ダウンヒルバイクはフロントフォークが特殊な形状をしている為、そのままでは本システムギアに積載する事ができません。
TP30 をダウンヒルバイクのフロントフォークに取り付ける事により、ダウンヒルバイクを本システムギアに積載できるようになります。

- TP30 ／ ダウンヒルバイク用アクスル

PIAA株式会社
お客様相談窓口
http://www.piaa.co.jp

ナビダイヤル 0570-050-555
受付時間　10：00〜12：00／13：00〜17：00
（土・日・祝日を除く）